



# いわき



## 薬物乱用防止教室

28日(金)に、全校生徒を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。県福祉環境部健康・予防課から講師をお招きし、薬物乱用の影響について講演していただきました。

違法薬物は、軽い気持ちで手を出してしまう人が多く、一度使ってしまうと自分で自分をコントロールできなくなってしまうことや年齢が低い人ほど、薬物依存に陥ってしまう可能性が高くなることなどを教えていただきました。違法薬物のサンプルを見て、その種類や危険性を知り、さらに、市販薬を一度に大量に摂取するオーバードーズは、命に危険を及ぼす可能性があることを知りました。子どもたちは、自分の身近にも、たくさんの危険が潜んでいることを実感できたようでした。

一度の使用によって、自分の大切なものを失ってしまうことのないよう、日頃から違法薬物に関する正しい知識をもち、誘われてもきちんと断ることが大切だということを確認する大切な1時間になりました。



## コミュニケーション力を育てます

2日(火)にコミュニケーション面談(2回目)を実施しました。

最近では、日常会話の中で「お醤油」それに対して「そこ」というような単語だけの会話が増え、相手に自分の気持ちや考えなどを、正確に伝えきれない場面が多くなっていると感じます。そのため、相手と意思疎通がうまくいかなかったり、誤解が生じたりすることもあるようです。このような状況は、本校においても例外ではありません。そこで、生徒のコミュニケーション力を高めることを主な目的としてコミュニケーション面談に取り組んでいます。

コミュニケーション力は「話す」「聞く」「話し合う」など、単にうまく意思疎通する力というだけでなく、他の人と関係性をつくる力でもあると言えます。ある調査では、多くの企業で採用の選考にあたり、特に重視したのが「コミュニケーション力」でした。また、

社会や企業が求める人材は、高校が求める人材でもあります。令和8年度入試における各高校が求める生徒像には、多くの学校で「協働」という言葉が出てきます。「協働」とは、コミュニケーションを通じて、複数人で課題に取り組むことを指していると考えられます。

このようなニーズに対応できるよう、面談に限らず、様々な場面でコミュニケーション力を育てていきたいと考えております。

## 県学習状況調査を実施

5日(木)に1、2年生を対象とした県学習状況調査が行われました。これは、全県の



各小・中学校における児童生徒の学習状況を把握し、授業の工夫改善を図ることで、子どもたちの学力の向上につなげることを目的として、毎年この時期に実施

しているものです。

また、この日は3年生が実力テストを実施しています。どの学年も、これまでの学習の定着を確認するための大切なテストでした。

1、2年生については、このあと県全体での結果の集計が行われ、各教科の状況や課題が示されることになっています。結果を分析し、それぞれの子どもたちに学習のアドバイスをするとともに、回復学習等とおして定着を図っていききたいと考えています。

3年生は、来月には私立高校の入試が始まります。今回も含め、残り少ない実力テストで自分の実力を高めていくとともに、テスト結果を進路選択のための材料の1つにしてほしいと思います。



## お知らせ 一部の「Gmail」ユーザーに学校連絡メールが届かないことについて

学校連絡メールに「Gmail」アドレスで登録している方に、メールが届かないという状況があるようです。

原因として「Google社がメールのガイドラインを厳しくしており、それに加えて熊出没やインフルエンザに関する注意喚起メールが増えたため、受信者が『迷惑メール』として報告してしまうケースが増えたため」との報告がありました。対応として、今後も受信を希望される場合は、『迷惑メール報告』をしないよう、ご注意くださいようお願いいたします。